

平成28年度分

担当課

農林水産課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.111 新規農業者への支援及び環境整備
事業概要	新規就農者の増加を図り、今後の地域農業の担い手育成のため、支援体制を充実します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 新規就農者数							
		KPI 平成31年度までに延べ18人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	3	1	0				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】							
		担当課評価	夷隅農業事務所、JAいすみ等と連携することにより、農業経営に必要で基礎的な生産技術や経営知識の習得、仲間づくりを進めるため交流機会を設けるなど推進に努めたが、新規就農者の確保には至らなかった。						
		D							
	改善（A）	【平成29年度における取組み】							
		若者農家と行政・農業委員との交流を通して新規に若者が就農しやすい環境づくりや、支援等を行っていく。 外部団体等からのアドバイスを得て、若者等の就農者の確保に努める。 農業経営の安定化や近代化を支援し、ほ場整備事業を推進するなど農業経営基盤の確立を行うことなどにより担い手育成を図る。							
委員意見	【評価等に対する意見】								
	委員評価								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

企画課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.113 地(知)の拠点大学による地方創生の推進
事業概要	千葉大学及び文部科学省が展開する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(CO-C+)」の実施協働機関として連携し、地場産業等育成に努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 新規就農者数							
		KPI 平成31年度までに延べ18人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	3	1	0				
		達成率							
		目標事項 新規漁業者数							
		KPI 平成31年度までに延べ12人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	2	4	1				
		達成率							
		目標事項 就業相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間40件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	40	20	24				
		達成率							
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】							
		担当課評価	平成27年度に千葉大学、敬愛大学と「学生にとって就職先の創出・開拓に関する取組」、地域が求める人材の養成に関する取組」と協働事項として連携協定を結んだところである。その中で千葉大学より地域コーディネーターの派遣を受け、学生と地域の結びつけるため活動を行っているところであるが、学生が地元に着定出来るプログラムの開発に至っていない状況にある。						
	改善（A）	【平成29年度における取組み】							
		市内の就業先は、学生達が求める就職先ではないことが、地元定着に繋がらない要因と捕らえる中、今年度、大学側と連携して大学や自治体の事業に対して学生が参加することができ、地元に触れることで就職先の創出・開拓になるように取り組む。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

農林水産課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の推進による地域のブランド化
事業名	No.121 農林水産物の高付加価値化とブランド化
事業概要	農林水産業者に対し、高所得化経営の推進するための研修を行います。 首都圏まで75キロという地の利を活かした他の地域との差別化を図りながら、遊休農地を活用した農産物の開発、マグロ・キンメダイなどの水産物のブランド化を推進し、販路の拡大に努めます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項 新規就農者数							
		KPI 平成31年度までに延べ18人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	3	1	0				
		達成率							
		目標事項 新規漁業者数							
		KPI 平成31年度までに延べ12人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	2	4	1				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価 (C)	【平成28年度評価】							
		担当課 評価	農林】勝浦産米を含めた「いすみ米」のブランド化を図るとともに、遊休農地を活用して、施設によるスプレーストック等花きの栽培やキウイフルーツの産地化を図るなどJA等と一体により推進活動を実施した。						
	B	水産】各種イベントに参加し、地元水産物(カツオ、キンメダイ、カジキ等)の無料配布を実施し、消費拡大を図った。							
	改善 (A)	【平成29年度における取組み】							
		農林】農業事務所やJA等関係機関と連携を図り、栽培技術講習会や先進地視察を行い、所得向上に資する技術の確立に取り組むとともに、ほ場整備事業を契機に地域における経営基盤強化として組織化を図りながら、農産物の付加価値化に取り組む。 水産】イベント等における消費拡大の推進も継続しつつ、更に流通関係に視野を置き、水産物認証制度等の検討を踏まえ、新たなブランド化への取組の検討も行う。							
委員意見	【評価等に対する意見】								
	委員 評価								

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

企画課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.131 企業立地の促進
事業概要	行川アイランド跡地や学校跡地等を活用した事業所の新設等を行う企業に対し相談体制の充実を図り、奨励措置・融資等の企業支援を講じます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 企業誘致件数							
		KPI 平成31年度までに延べ3件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	3	0	1				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】							
		担当課評価	企業立地奨励金制度の要件を緩和・拡充するとともに、金融機関等を通じた周知を行い、企業の新規進出や既存企業の支援に努めた。また、千葉県と連携した情報交換・企業訪問等により、本市の地域資源を最大限に活用した企業誘致に努め、旧清海小学校へ、1社の立地が決定した。併せて、行川アイランド跡地への宿泊型リゾート施設計画の実現に向けた支援を行った。						
	改善（A）	B							
		【平成29年度における取組み】							
	委員意見	市内企業への訪問により、奨励金制度の説明や企業ニーズの把握に努め、実情に即した的確な支援を行う。また、引き続き千葉県との積極的な連携により、本市への新規企業進出に向けた立地ニーズの把握や企業訪問などの取組を推進する。併せて、ビジネスシーンにおける本市の魅力のPRに努める。							
		【評価等に対する意見】							

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.132 中小企業の振興
事業概要	経営の合理化や設備の近代化などに必要な融資を行い、併せて利子補給を実施することにより、市内中小企業の振興を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項	就業相談件数					
		KPI	平成31年度までに年間40件					
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値	20	20	24			
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】						
		担当課評価	中小企業に向けた近代化融資や利子補給事業の更なる展開に向け経済産業省の創業支援事業計画の認定を受けたが、年度途中の認定であったこともあり総合戦略の目標値に近づけることができなかった。					
	改善（A）	B						
		【平成29年度における取組み】	平成28年10月に認定を受けた「創業支援事業計画」に則り市内金融機関等の関係団体と協力し創業者はもとより中小企業者等の支援を行なう。創業支援事業計画の認定を受けることにより、中小企業庁の補助金事業等による支援も可能となり、併せて市独自の新たな融資制度等の創設に向けた研究・検討を行う。					
	委員意見	【評価等に対する意見】						
		委員評価						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.133 商店街の活性化
事業概要	商工会に対し、商店街活性化のための支援を実施し、各商店街の活性化を図ります。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間40件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	20	20	24				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】							
		担当課 評価	商店会の活性化に繋がるよう朝市との連携による「潮風朝市」を試みた。商店会の活性化に向けた創業者の支援を目的とした経済産業省の「創業支援事業計画」の認定を受けたが、年度途中の認定であったこともあり総合戦略の目標値に近づけることができなかった。						
	改善（A）	B							
		【平成29年度における取組み】							
		平成28年10月に認定を受けた「創業支援事業計画」に則り市内金融機関等の関係団体と協力し商店会の担い手となり得る創業者等の支援を行ない、併せて、勝浦市商工会を通じ勝浦中央商店会並びに興津商店会が独自に実施する事業に対し補助金を交付をし活性化をより図る。							
委員意見	【評価等に対する意見】								
	委員 評価								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.134 起業者支援
事業概要	商工会と連携して空き店舗調査等を行い、起業者に対し相談や資金面での支援体制の充実を図り、開業率の上昇を促進するように努めます。

計画（P）→実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項	就業相談件数					
		KPI	平成31年度までに年間40件					
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値	20	20	24			
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】						
		担当課 評価 B	勝浦市商工会と連携し、空き店舗及び貸出し可能な店舗について調査をしたが、住居兼店舗での形態が多くであった貸出しを希望するもの2件と少なく、市及び商工会のホームページにて紹介を行なっているが、希望者も無い現状である。空き店舗所有者への理解等を得るため、条件整理やモデル的な空き店舗を示す必要性を感じた。					
	改善（A）	【平成29年度における取組み】						
			引き続き、勝浦市商工会との協力により、空き店舗の調査及び借用可能な店舗についての情報提供や条件整理について検討を行なう。併せて、平成29年に実施する「かつら観光ぷらっとフォーム事業」の中で、空き店舗を活用したアンテナショップについて検討する。					
	委員意見	【評価等に対する意見】						
		委員 評価						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.135 就労支援
事業概要	就労を希望する者の、職業相談支援を行い、雇用の創出を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間40件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	20	20	24				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】							
		担当課評価	就労を希望する者へハローワークからの情報を、窓口にて気兼ねなく常に閲覧できる状況としている。 また、若者の未就労者対策として、千葉南東部地域サポートステーションの事業を支援した。						
	改善（A）	【平成29年度における取組み】							
		平成28年10月に認定を受けた「創業支援事業計画」に基づき、市内金融機関等の関係団体と協力し創業者はもとより中小企業者等の支援を行なう。 ハローワークとの協力により、多くの情報が提供できるよう各メディアを活用し、求人情報を提供できるよう検討を行なうとともに、若者の未就労者対策については千葉南東部地域サポートステーションと協力し就業支援を行なう。							
		【評価等に対する意見】							
委員意見	委員評価								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

観光商工課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	魅力的な観光地の基盤づくりの強化 イベント活動の充実と魅力の向上
具体的施策	観光産業の育成・支援
事業名	No.211 観光案内の環境整備
事業概要	観光の基盤づくりとして観光拠点を強化し、観光客への情報発信体制を充実します。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	交流人口(観光入込客数)						
		KPI	平成31年度までに年間1,300千人						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083				
		達成率							
		目標事項	市内宿泊客数						
		KPI	平成31年度までに年間310千人						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	291	296	284				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価 (C)	【平成28年度評価】							
		担当課 評価	かつら観光まちづくりコンソーシアム準備委員会を立ち上げ、日本版DMOに向けた組織構築の準備を行ない、新たな観光都市作りに向けた観光地再生戦略を策定した。						
	改善 (A)	C	土産品を含む観光商品開発、観光拠点地域となりうる鵜原理想郷周辺整備、花によるおもてなしとして桜の植樹等を行なったが実施時期が年度後半であったことから、総合戦略の目標値に反映するほどの効果は見られなかった。						
		【平成29年度における取組み】	観光地再生戦略に基づき観光拠点となりうる「ひと」「もの」の発掘等を引続き行い、昨年観光拠点として整備した鵜原理想郷等の見所や各種体験観光などを、各観光案内所やコピービジターセンター等を活用し、勝浦の観光について勝浦市観光協会と協力し、情報発信を行ないます。						
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員 評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

観光商工課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	魅力的な観光地の基盤づくりの強化 イベント活動の充実と魅力の向上
具体的施策	観光産業の育成・支援
事業名	No.212 イベント活動の充実と新たな観光資源の整備
事業概要	既存イベント活動の充実を図るとともに、新たな観光資源の掘り起こしを行い地域の活性化を促進するよう努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口（観光入込客数）							
		KPI 平成31年度までに年間1,300千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083				
		達成率							
		目標事項 市内宿泊客数							
		KPI 平成31年度までに年間310千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	291	296	284				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】							
		担当課評価	かつらびビッグひな祭りを始めとする各イベントに関係する団体等の潜在的な魅力を掘り起こした新たな企画を導入しコラボレーション等行なったが総合戦略の目標値に反映するほどの効果は見られなかった。						
		C							
	改善（A）	【平成29年度における取組み】							
		観光地再生戦略に基づき観光拠点となりうる「ひと」「もの」の発掘等を引続き行い着地型観光の商品開発を行なう。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

企画課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	魅力的な観光地の基盤づくりの強化 イベント活動の充実と魅力の向上
具体的施策	観光産業の育成・支援
事業名	No.213 漁村・農村観光の促進
事業概要	今後の観光業の底上げを図るために漁業体験、農業体験などのメニューの構築や、観光マップの作成および周辺環境を整備し滞在時間の延長及び交流人口の増加を促進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口（観光入込客数）							
		KPI 平成31年度までに年間1,300千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083				
		達成率							
		目標事項 市内宿泊客数							
		KPI 平成31年度までに年間310千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	291	296	284				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】							
		担当課評価	住民主導によるまちづくりを平成27年度から実施し、平成28年度までに鵜原区、松野・小松野区、大森区の3区で自主的に地域の課題に取り組む活動を行っており、その中で鵜原区では、鵜原駅から理想郷を中心とするガイドマップを作成し、区独自に観光客に売り込むなどの活動がなされた。						
	改善（A）	【平成29年度における取組み】							
		3地区の他、地域課題に対して意欲的に取り組む地区に対し補助を行い、地域の活性化に取り組む。また、その活動の中で、地域の持つ魅力を観光などに活かし、体験メニューの構築などを行う。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

企画課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	UIJターンの促進
具体的施策	移住・定住の促進
事業名	No.221 UIJターンの促進
事業概要	都市住民を対象に本市への移住・定住するためのきっかけづくりに取り組み、移住・定住を支援する体制を構築します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項	移住相談件数						
		KPI	平成31年度までに年間200件						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	126	144	154				
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成28年度	評価（C）	【平成28年度評価】							
		担当課評価	問い合わせ件数は増えつつあるため、このままホームページや定住イベントへの参加を継続していきたい。						
	改善（A）	B							
		【平成29年度における取組み】	問い合わせ件数の増え方から世間の関心の高まりを感じるが、空き家の売買・賃貸の成約件数が横ばいであるため、優良物件の確保や、勝浦の魅力を説明する方法の工夫に努めていきたい。						
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

企画課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	UIJターンの促進
具体的施策	移住・定住の促進
事業名	No.222 田舎暮らしの魅力発信
事業概要	都市住民へ本市の魅力を体験してもらうため、お試し居住施設の整備を図ります。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	移住相談件数					
		KPI	平成31年度までに年間200日					
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値	126	70	214			
		達成率						
		備考						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
		備考						
平成28年度	評価 (C)	【平成28年度評価】						
		担当課評価	27年度から開始した田舎暮らし体験施設については、利用率増加傾向にある。					
		B						
	改善 (A)	【平成29年度における取組み】						
		体験施設利用者からは、施設の内容については概ね満足を得ているが、さらに勝浦や夷隅地域の魅力を伝える工夫をし、利用後に再び勝浦を訪れたり、定住先としてしてもらうなどの実績を増やしていきたい。						
	委員意見	【評価等に対する意見】						
		委員評価						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

企画課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	UIJターンの促進
具体的施策	移住・定住の促進
事業名	No.223 若者定住の推進
事業概要	定住を希望する若い夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、奨励金を交付します。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	奨励金交付件数					
		KPI	平成31年度までに年間20件					
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値	20	19	10			
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
平成28年度	評価 (C)	【平成28年度評価】						
		担当課評価	奨励金制度の利用者は27年度に19件、28年度に10件と減少してしまった。					
		C						
	改善 (A)	【平成29年度における取組み】						
		人口減少傾向が強まる中、制度をより強く広報することで移住者が勝浦を選ぶ際に後押しをする必要が有る。						
	委員意見	【評価等に対する意見】						
		委員評価						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成28年度分

担当課

都市建設課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	UIJターンの促進
具体的施策	移住・定住の促進
事業名	No.224 住環境の整備
事業概要	アパート経営者に対し、単身者向けから、ファミリー向けに改装した場合に補助を行い住環境の充実を図ります。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	移住相談件数					
		KPI	平成31年度までに年間200件					
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値	126	70	214			
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
平成28年度	評価 (C)	【平成28年度評価】						
		担当課 評価	勝浦市集合住宅リフォーム補助金交付要綱を策定し、ホームページ等で周知を行い、子育て世帯家族の生活環境の向上及び移住・定住促進を促した。					
		B						
	改善 (A)	【平成29年度における取組み】	補助金交付要綱は策定したが、リフォーム工事の申請はでは至っていないため、引き続きホームページ等により周知を図る。					
	委員意見	【評価等に対する意見】						
		委員 評価						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。